

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成27年10月1日(2015.10.1)

【公表番号】特表2013-529909(P2013-529909A)

【公表日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-040

【出願番号】特願2013-512184(P2013-512184)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	31/7125	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	31/7125	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年8月5日(2015.8.5)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

【図1】Lipofectamine 2000を用いて導入されたSiRNAオリゴで処置した後48時間でのHEPG2細胞におけるATOH1のmRNAの、対照と比較した倍率変化および標準偏差を示す。リアルタイムPCRの結果は、HepG2細胞におけるATOH1のmRNAのレベルが、ATOH1のアンチセンスHS.611058に対して設計されたオリゴのうちの1つで処置した後48時間で大幅に増加していることを示す。CUR-1488およびCUR-1489と付記されたバーは、それぞれ配列番号3および4で処置されたサンプルに対応する。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

[配列表の説明]

配列番号1：ホモサピエンス無調ホログ1(Drosophila)(ATOH1)、mRNA(NCBI登録番号：NM_005172)；配列番号2：天然ATOH1アンチセンス配列(Hs.611058)；配列番号3および4：アンチセンスオリゴヌクレオチド。*はホスホロチオエート結合を示す。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0229

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0229】

[結果]：

リアルタイムPCR結果によれば、ATOH1アンチセンスHs.611058に対して設計されたオリゴの1つでの処置の48時間後に、HepG2細胞中のATOH1のmRNAレベルは有意に上昇している(図1)。